

平成21年度ふるさと子ども夢学校現地研修会・九州ブロック 参加者事後アンケート集計表

■ふるさと生活体験に期待する効果について(回答者の意見の集約結果)

- ・子どもの「生きる力」(自己解決能力・チャレンジ精神・コミュニケーション能力・礼儀やマナー・自己発見・共生の自覚と感謝等)創成に多大なる期待が寄せられており、また確かな手ごたえも実感されている(一方で、本来の教育の場である家庭や地域での努力がおろそかになったり、農村を「日本人の原点」と理想化して過剰な期待をしたりする危険性もあるかもしれない)。
- ・農家の人の温かさに触れる、子どもたち同士の友情を築くなど、「人と人とのふれあい」が重視されている。
- ・食や第一次産業への子どもたちの関心を高めたい、農家や農村の役に立ちたいという意見も少数であるが見られた。

■今後の課題(回答者の意見の集約結果)

- ・全員が「金銭面の負担」を課題として挙げている。次いで、児童の安全面や保護者の理解、他の学習との兼ね合いや関係者の関心(授業時間数、教員や教委の了解)を課題とする回答が見られた(ただし、既に実施を決定/前向きに検討している学校=条件が比較的整っている学校からの参加であったため、あまり危機的な声は聞こえてこなかったと思われる)。

参加者の所属・役職		1. ふるさと生活体験に期待する効果とは	2. 小学校におけるふるさと生活体験の普及について		3. 小学校において「ふるさと生活体験」を普及させるための課題	4. 今後、小学校において「ふるさと生活体験」を普及させるために求められること	5. 自由回答	
所属	役職		所属校で実施したいか	その理由				小学校において「ふるさと生活体験」を普及させたいか
回答項目		自由回答	①ぜひ実施したい ②まあまあ実施したい ③どちらでもない ④あまりしたくない ⑤全くしたくない	自由回答	①ぜひさせたい ②まあまあさせたい ③どちらでもない ④あまりさせたくない ⑤全くさせたくない	①教員の負担 ②指導に自信がない ③授業時間数の不足 ④教育内容の未履修 ⑤教育効果が曖昧 ⑥児童の健康・安全面の不安 ⑦金銭面の負担 ⑧保護者の理解 ⑨教育委員会の了解 ⑩その他	自由回答	
宗像市立玄海東小学校(福岡県)	教諭	体験を通して、人の温かさ、友達との関係の深まり等	②まあまあさせたい	学校長に報告し、来年度以降のカリキュラムも考えた上で検討したい。	①ぜひさせたい	児童の健康・安全面の不安、金銭面の負担、保護者の理解、教育委員会の了解	・受入体制の説明会を県教委、事務所単位の開催(校長研修会や教頭、教務主任研修会など)が必要。私も含め知らないことがほとんどである。 ・受入先をもっと増やす取り組み、国、県、自治体単位で進めることが重要だとも思う。	・学校現場での啓発活動が、今度の大きな課題だと思います。 ・そのためには、文部科学省のこの取り組みにける意気込み、熱い想いが必要だと思います。
春日市立春日東小学校(福岡県)	学校長	日本のよさ(自然、文化、伝統、産業...)を見直すことによって、現状の学校教育、家庭教育、地域教育の課題を整理し、それぞれの持つ教育の役割を明確にし、学校教育の計画と実施に結び付けていくこと。 本校では、教育課程づくり(改善)に活かすこと、コミュニティスクールの運営に活かすこと。以上がさっそく取り込めることだと考える。	①ぜひ実施したい	本校区環境から、安心院地区や漁村地区による「人、もの、こと」とのかかわりは、カリキュラムの特色化のポイントになるから。	①ぜひさせたい	授業時間数の不足、金銭面の負担	・カリキュラム化する学校の目的を明確に持つこと ・カリキュラム化と授業化のプロセス(計画・実施・労働...)に、学校関係者だけでなく、保護者、住民プラス受入地域組織、旅行業者が、協働参画的に関わって、共に責任持つこと。	中長期的、全国的な取組にするために、予算面でのバックアップが関係省庁に求められている。また、地方自治体での主体的な取り組み、予算面でのバックアップも同時に必要。
春日市立春日東小学校(福岡県)	教務主任	これまでの私の経験の中では、小学校における自然教室は、集団規律を集団で学ぶ目的であった。しかし、現在の子どもの実態からすると、それ以前の学び(過去においては就学前に家庭で身につけておくこと)が必要と考える。その学びを効果的に行うことが、「ふるさと生活体験」において可能と考える。	①ぜひ実施したい	今年度、5年生が2泊3日で実施したところ、子どもたちの目の輝き、生き生きとした表情、保護者の感想等から、教育的効果があると実感したから。	①ぜひさせたい	金銭面の負担、保護者の理解、教育委員会の了解	実践と成果を広めるとともに、何よりも現実的なことは、費用面の補助と思う。一過性のものでではなく、定着させていくためには、3泊、4泊に対応した費用の個人負担をどれだけ少なくしていくかが大きいと思う。そのためには、国や地方公共団体での安定した予算組を考えていかなければと思う。	今回、学校2名の枠に対して、4名申し込んだところ、4名とも受け付けていただき、感謝しています。これから校内に周知していく上で、たいへん有意義な研修ができました。 *些細なことですが、食事はもう少し、軽めで良いと思います。
春日市立春日東小学校(福岡県)	研究主任	生活面においては、自律心や主体性、協調性を育むことができたと願っています。学習面においては、農家、JA観光の方と打ち合わせをしっかりと、良い教育課程をつくれれば、子どもたちの表現力、思考力もついてくると考えています。	②まあまあ実施したい	まだ、不明な点や協議しなければならぬ、安全面や金銭面の問題があります。厳しい家庭でも喜んで参加させたいと思うような、計画をこれから学校を中心として作っていけば、実施していけると思います。	①ぜひさせたい	教員の負担、児童の健康・安全面の不安、金銭面の負担	JA観光さんを中心にされることは、よいと思いますが、他の旅行会社の方にも門戸を開いて、この体験を各校で実施できるようにすることが大切だと思います。他の旅行会社さんの良さもあるので...	日本の中で大切にされないといけないことを子どもに経験させ、それをもとに学習していく取り組みというのは、非常に魅力的であると感じました。また心やさしい農山漁村の方々も子どもたちもよかったです。思えるものになると考えています。期待しています。
春日市立春日東小学校(福岡県)	研究副主任	子どもたちが活動を通して様々な人の思いや良さに触れることができ、人間の温かさを感じ、コミュニケーション能力の高まりを期待することができます。	②まあまあ実施したい	800人前後の大規模校なのでクリアしないといけないことが多々あると感じています。	②まあまあさせたい	金銭面の負担、保護者の理解	家庭の金銭面における負担軽減!	

粕屋町立粕屋西小学校 (福岡県)	校長	・自然体験、農業体験をする中で、農家の人が持つ純日本的な誠実な心に触れることにより、子どもの心を洗い、素直で美しい心をよみがえらせること ・第一次産業が見向きもされなくなった現代、日本文化の柱である農業の良さ、農業をして生きることの大切な意義を子どもに伝え、第一次産業の活性化をはかること。	①ぜひ実施したい	日常の中に埋もれ、日本人の生活基盤・文化基盤・価値基盤である「農業」の価値に触れさせるとともに、日本人の気質基盤である誠実さを子ども一人一人の心の中に育みたい。	①ぜひさせたい	日本のすべての子どもたちに4や5の(1)のわらいに基づいた活動を体験させたい。	教員の負担、その他(教員の資質、指導力が一番(唯一)だと思う。)	体験をさせるだけで、ねらいに達するとは思っていない。やはり最も大切なのは、教員の資質、指導力の高さである。本校はこれをクリアしているので5年間も続けていると思っている。	子ども一人に対して「1万円」の補助を半永久的に継続してほしい(年間100億)。この補助と教員の資質向上があれば日本中で実施することができると考える。
粕屋町立粕屋西小学校 (福岡県)	教諭	私は、子どもに農業体験をさせるということもありますが、その体験を通して、地域の人とのふれあいをより重視しています。民宿をさせて頂いている方には、それをするやりがいや生き甲斐を持っており、そういう人と接することで「家族」を実感すると思いました。							
粕屋町立粕屋西小学校 (福岡県)	教諭	・5年後、10年後の教育効果に大きな期待をしている。 ・事件・事故が起こらないように、どれだけ努力を続けられるか ・予算	①ぜひ実施したい	すでに実施しているので、さらに工夫していきたい。	②まあまあさせたい	予算次第の面がある。	教育効果が曖昧、金銭面の負担		
粕屋町立粕屋西小学校 (福岡県)	教諭	心の面で、すごい意味があると考えています。	①ぜひ実施したい		①ぜひさせたい		金銭面の負担		ぜひ、これを日本全国に広げていってほしいです。
西条市立神拝小学校(愛媛県)	主幹教諭	・ふだん接することのない大人とのコミュニケーション能力が育つ。 ・日頃の生活と少し違ったゆったりとした時間が過ごせる ・食や生活習慣への考え方が変化するのであろう	②まあまあ実施したい	学校の近くで体験可能なところがあれば実施したいが、心配な点は費用と大人数をある程度かたまったところでまかなえるか	①ぜひさせたい	自然体験、農業体験が少なくなっている現在の子どものこと、ぜひ経験させたい。	金銭面の負担、保護者の理解、その他(受け入れ農家との学校との連絡)	・受入農林漁家の確保と保護者の負担の軽減 ・より多くの教職員、学校への宣伝	・安心院では地域をあげてグリーンツーリズムに取り組んでいる様子がよくわかりました。 ・今年自分の学校が指定を受けて宿泊を計画するまでは、この事業のことを知りませんでした。より多くの学校や教育関係者、保護者へ知らせる手立てが必要だと思います。
西条市立壬生川小学校 (愛媛県)	教諭	・素直な本当の自分の姿の発見 ・自分たちを見守ってくれる人の存在の体感 ・人と人とのつながり(コミュニケーション力) ・自発的行動力の向上 ・礼儀(マナー)の向上	①ぜひ実施したい	大変効果の期待できるものであることを体感し、実施したいという気持ちはあります。が児童の負担額、他の地域での受入態勢の充実度がわからないこと、教育課程上の位置づけなど解決していく必要があることが多々あり、検討が必要です。	①ぜひさせたい	・上記5-(1)のようなことがうまく解決できれば普及させていくことは良いことだと思います。が、農村部、漁村部の学校の場合、特別にというキーポイントが見えにくいことがあり少し考えてしまいます。	授業時間数の不足、児童の健康・安全面の不安、金銭面の負担、保護者の理解、その他(受入地域のプログラムの充実)	・今回のように現地研修などを通して、学校側がこの活動の状況を理解していく必要があると思います。 ・また身近な地域での受入体制が市や地域の農協との連携等を通じて充実していくことが必要であると思います。	今回安心院での取り組みを実際に目にする事ができ、子どもに対する教育効果も大きいものがあるということや、地域の活性化という点でもすばらしい取り組みの流れであるという風に感じました。新教育課程の趣旨の上に立ってこういう体験活動がうまく取り入れられるよう工夫できればと思いました。
伊予市立南山崎小学校 (愛媛県)	教諭	「自律・協力・感謝」それらが周囲の人たちの思いやり、支えで成り立っていることを強く感じ、自分にできることからやらずにはという気持ちが生まれてくるのだと思います。また、今それが見えなくてもそれが心の糧となっていつか開花し、実を結ぶと想像できます。	①ぜひ実施したい	本校は昨年度実施したことがあり、その教育効果は、子どもにしっかりと宿っている。また、学校、家庭では経験できない、人と人とのやりとりなので、自分を一人間として自覚できる良い機会だと思います。	①ぜひさせたい	すでに愛媛県も増やしていく方針で、昨年よりも参加校や参加希望校が倍増しました。いろいろな学校に広めたいというねらいのため2年連続の実施は危ぶまれたのですが、優遇していただき感謝しています。	金銭面の負担	2年間、補助金があったので参加できたのですが、それが無い場合の自己負担になり制限されてくると思います。子どもへの教育効果を最優先して、無駄な部分を省けるとともに民泊家庭に有益な利益が出るようにしてほしいです。	子どもの感動の涙は何にも代えがたい尊いものだと思います。それを生み出すための大人たちみんなの努力を、しっかり子どもに感動を味わわせられるようこの体験活動が全国に普及するものと信じています。
大洲市立粟津小学校(愛媛県)	教諭	農村地域という、人間の原点のような場所で、温かい人と人とのふれあいを体験することにより、今一番子どもたちに必要な自立や感動といった人間らしい「心」が育つと思えました。	①ぜひ実施したい	費用の問題がクリアできるならばぜひ農泊の事業を行いたいと思います。	①ぜひさせたい	子どもたちの生活や考え方を考えるチャンスになるとおもいます。	児童の健康・安全面の不安、金銭面の負担	教員自身がこのような研修会で実際に体験することだと思います。私もこの研修会に来るまで本来の目的を理解していませんでした。	大変素晴らしい体験をさせていただきありがとうございました。「しいたけ村」の皆様にも心地よい田舎の時間を味わわせて頂きました。ありがとうございました。
吉岐市立箱崎小学校(長崎県)	校長	自然環境や、民泊家の環境の素晴らしい中で活動を通しながら生活体験ができるということは、日常ではなかった「考える時間」がたくさんもてるから、思いがけない効果が子どもたちに芽生えると思う。	①ぜひ実施したい	次年度は4泊5日を実現させるためにこれから取り組んでいきたいと思っています。	①ぜひさせたい	私の学校は農村体験ゾーンであるけど、大変必要だと思います。要するに、今の家庭には、生活できる場ではないことが多すぎます。	児童の健康・安全面の不安、金銭面の負担、保護者の理解	教育課程への明確な位置づけ、保護者、教職員への理解	大変よいことだと思うので広めていきたいのですが現場は学力向上(新学習指導要領)のことで厳しい部分がありますから…。でもが頑張っていきたいと思います。
国東市立竹田津小学校 (大分県)	教諭	子どもが自ら考え、決定し、行動することができる力の育成やなんとかやってみようというチャレンジ精神の育成	①ぜひ実施したい	実際に子どもの様子を見て、生き生きと生活していることがわかったので	①ぜひさせたい	生活体験の少ない子どもが多い中で何でもやってみようというチャレンジ精神あふれる子どもにしたいと考えている。	授業時間数の不足、金銭面の負担	まず学校関係者がこの事業の素晴らしさを体験できるチャンスを増やすことが大切	もっと大人数の教職員が参加できたらよい。

※回答内容の公開を拒んだ参加者の分はここで掲載していません。